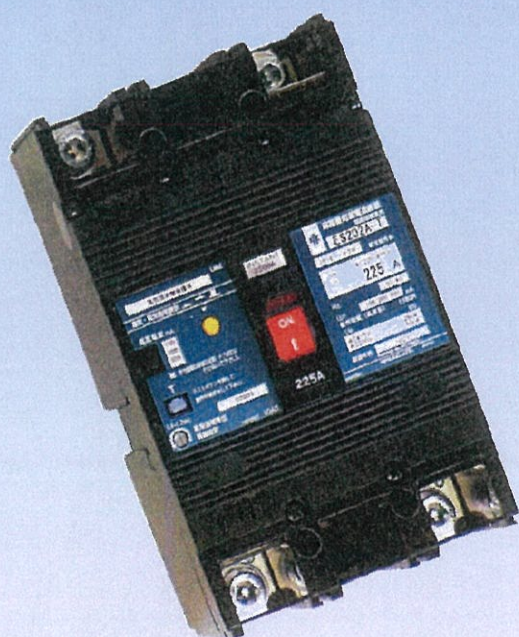
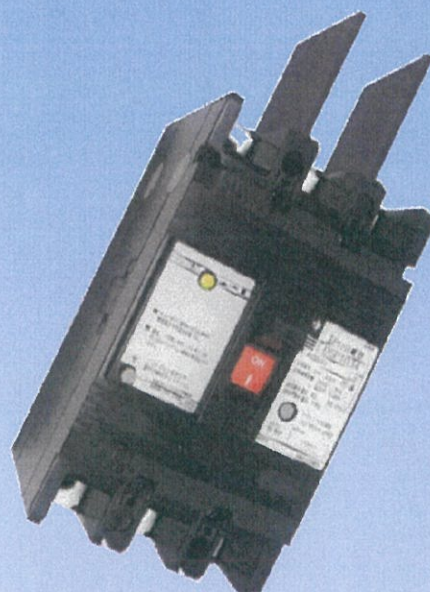
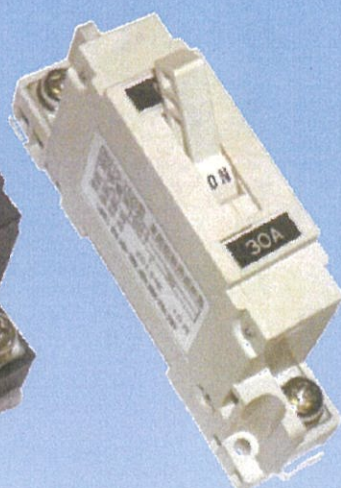
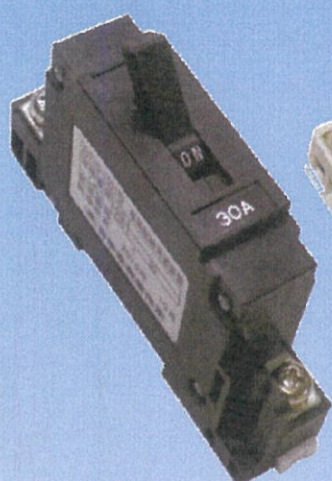




NIKKO

CORPORATE GUIDE



株式會社 日幸電機製作所

社名「日幸」と企業理念



当社の社名「日幸」は、「働くもの日まし幸なれ」という当社の企業理念を表現したものです。これにはユーザーの皆様はもちろんのこと、当社に就業する従業員も共に、豊かに発展することができるようにという願いがこめられています。「日幸」の理念のもと、さらなる技術力向上を追求し優れた製品をお届けすることで広く社会に貢献してゆきたいと考えております。

蓄積された「技術」を礎に 創意と熱意で ユーザーの皆様とともに歩みます。

日幸電機製作所は昭和10年に創業以来、配線用遮断器（FMサーキットブレーカ）の専門メーカーとして、電気回路の安全を守る技術の開発に尽力して参りました。特に鉄道事業用や電力、通信事業を始めとする、公共インフラにも古くから多くの実績と信頼を得て、永年に亘り高性能遮断器の提供に努めております。当社は2015年の2月に創立80周年を迎え、これも皆様のご支援の賜物と存じております。今後とも、永年蓄積してきた技術力を基礎にさらにブレーカの技術の探求に努め、新たなひろがりを目指して邁進していきますので、ご期待下さい。

代表取締役 **大 條 雅 也**

日幸電機製作所の品質方針

『お客様の信頼を裏切らない「品質」と「サービス」の提供を継続するため、品質マネジメントシステムの継続的改善を実現します。』

ISO9001(品質マネジメント規格)を認証取得

配線用遮断器・漏電遮断器・サーキットプロテクタは
ISO9001の認証工場で製造しています。

NIKKO
IDENTITY

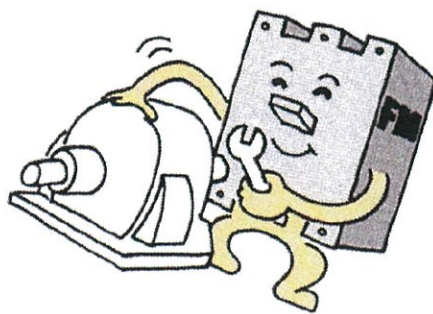
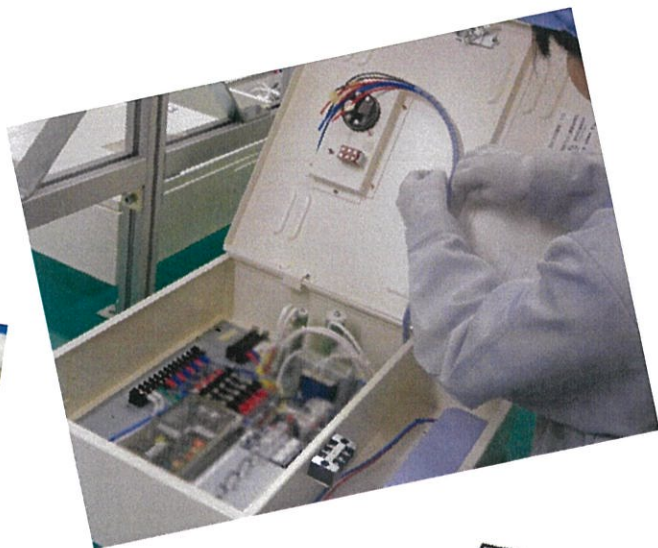
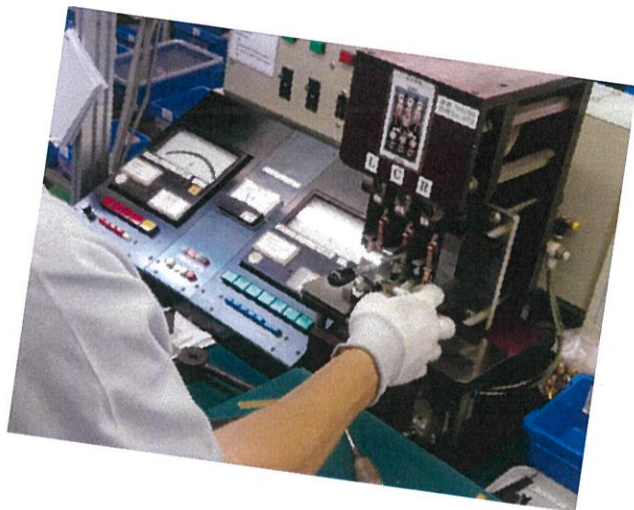


暮らし、社会へ。
私たちの技術が社会の
さまざまなシーンで活躍しています。



テクノロジーのめざましい進歩によって、時代は大きな変革期を迎えています。高能率で快適なオフィス、夢のリニアモーターカー、安全で生産性の高い工場そこにうまれる文化的生活。電気回路の安全を見守る日幸のブレーカは、重要な役割を担っています。創業以来蓄積してきた技術が、人々の明日の新しい社会を創造する一助となるよう、たゆまぬチャレンジを続けています。

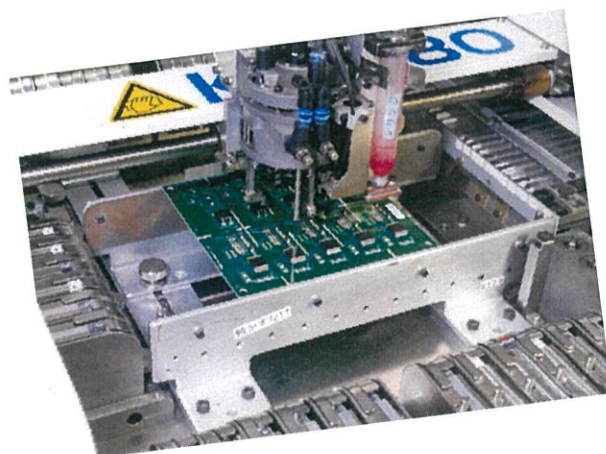
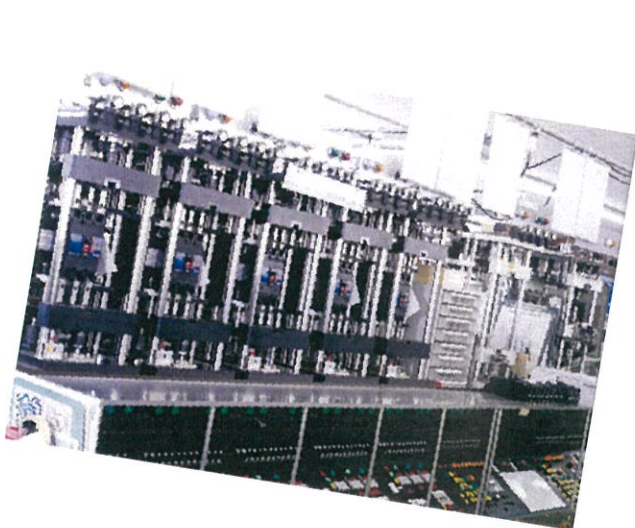
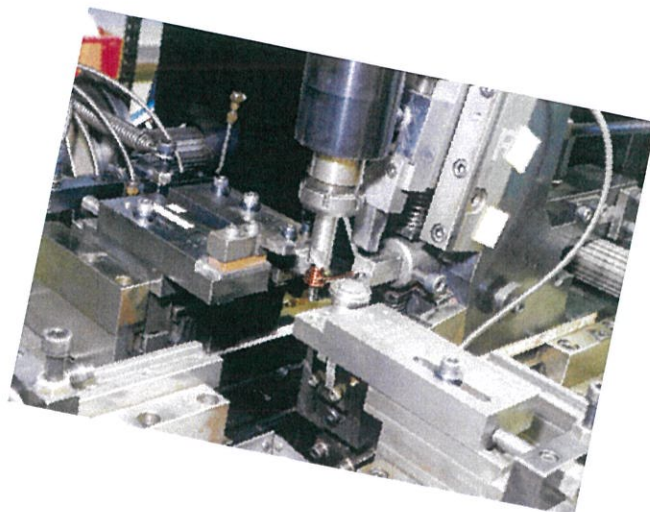
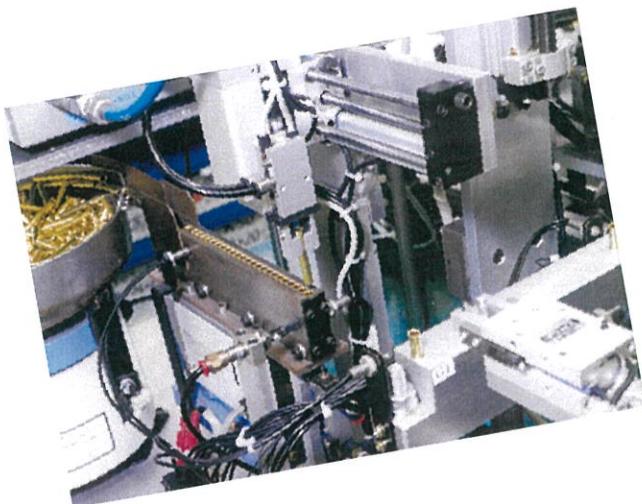


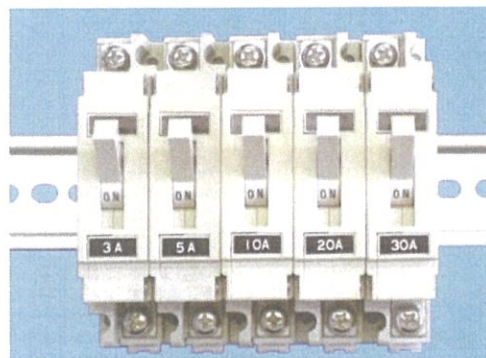


お客様からの信頼と評価を頂くために、
信頼を裏切らない「品質」と「サービス」
の提供を継続します。



確かさを生む生産体制。
高度な技術と生産設備が
ユーザーの信頼を生んでいます。





FMサーキット・ブレーカ・シリーズ ブレーカの全領域をカバーして あらゆるニーズにお応えしています。

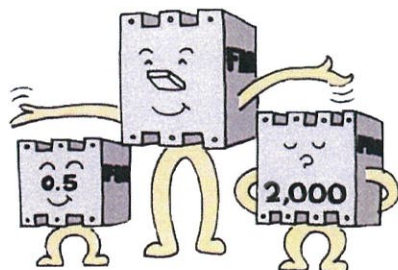
配線用遮断器(MCCB)は、電気回路に過電流が流れた時自動的に動作して、事故を防ぐ機器です。日幸電機製作所はそのブレーカの専門メーカーとして、独自の技術でユーザーの皆様の信頼に答えてきました。当社のブレーカは完全電磁式(Full Magnetic)の頭文字から、FMサーキットブレーカと呼ばれています。

当社では、0.5A~2000Aの全領域でこのFM式を採用しており、JR各社、電力会社、公共放送をはじめとするユーザーはもとより、現情報化時代の真只中にあるは各種電源機器の保護にもなくてはならない存在として活躍し、幅広く好評を得ております。



CBI社との共同事業

日幸では当社と同じ完全電磁式メーカーであるCBI-ELECTRIC社(南アフリカ)と技術協力を行い、IBシリーズを始め世界に通用するブレーカを開発し、販売しております。製品は、国際規格IECにも適合しており、UL、CSA、TÜV またはVDEの承認も得ております。今後とも日幸はCBI-ELECTRIC社とのより緊密な技術協力により国際的なブレーカを発表していきます。



■会社沿革

会 社 名 株式会社日幸電機製作所
所 在 地 《本社》
神奈川県川崎市中原区上丸子山王町1-860-2(〒211-0002)
TEL 044-455-1231 FAX 044-455-1232
E-mail : nikko-all@nikko-el.co.jp
《営業部》
神奈川県川崎市中原区上丸子山王町1-860-2(〒211-0002)
TEL 044-455-1211 FAX 044-455-1212
E-mail : eigyo@nikko-el.co.jp

代 表 者 大條 雅也

資 本 金 1億円

設立年月日 創立 昭和10年 2月
設立 昭和13年12月

営 業 品 目 配線用遮断器(FMサーキットブレーカ)、漏電遮断器、
機器保護用遮断器(サーキットプロテクタ)、
アンペア制用電流制限器、生ゴミ処理機(ディスプレイ)

従 業 員 数 174名

取 引 銀 行 商工中金(東京)、三井住友銀行(旗の台)、
横浜銀行(武蔵小杉)、川崎信用金庫(武蔵小杉)

関 連 会 社 北陸日幸電機株式会社
石川県羽咋郡志賀町大字若葉台15番地1(〒925-0375)
TEL 0767-38-1046 FAX 0767-38-1048
日幸電機精工株式会社
東京都世田谷区玉川田園調布1-15-14(〒158-0085)
TEL 03-3722-6015 FAX 03-3722-5264
日幸電機株式会社
宮城県亘理郡亘理町吉田字宮前21-2(〒989-2331)
TEL 0223-34-1121 FAX 0223-34-4855
日幸電設株式会社
宮城県亘理郡亘理町逢隈鹿島字吹田19-1(〒989-2371)
TEL 0223-34-3161 FAX 0223-34-2354

■工場およびグループ会社

(株)日幸電機製作所 坂元工場



生産品目/FMサーキットブレーカ、漏電遮断器、
サーキットプロテクタ

(株)日幸電機製作所 古河工場



生産品目/FMサーキットブレーカ、漏電遮断器

日幸電機精工(株) 丸森工場



生産品目/各種金型、プレス部品、
モールド成型部品

北陸日幸電機(株) 本社工場



生産品目/FMサーキットブレーカ、
アンペア制用電流制限器他

日幸電機(株) 本社工場

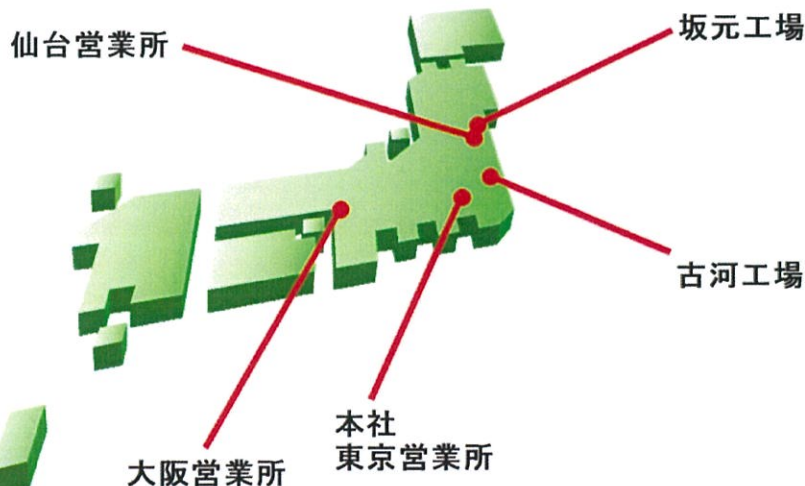


生産品目/各種トランス、各種コイル

■会社沿革

昭和10年 大條駒雄、東京都世田谷に日幸電機製作所を創立、主として
船舶用、陸上用各種配電盤、航空機用電気機器の製造を開始
昭和13年 経営組織を株式会社に变更、株式会社日幸電機製作所と称す。
当初資本金10万円
昭和22年 高低圧用各種配電盤、分電盤並びに付属機器の生産力を増加し、
更に電磁式電流制限器を完成。
昭和27年 本邦唯一の完全電磁式配線用遮断器FMサーキットブレーカを完
成し、製造販売を開始。日本海事協会認定品となる。
昭和29年 駐留軍施設の全ブレーカを受注納入する。アンペア制用安全ブレ
ーカとして、東北電力5万個、北陸電力3万個を受注完納。
昭和34年 我が国最大容量の配線用遮断器として、FMサーキットブレーカの
1000Aフレームを完成。
資本金7,200万円となる。
昭和37年 第11回日本オーディオ・フェアで日本ではじめてのオールトランス
タステレオアンプを発表。
昭和39年 古河工場新築完成。
ハイネマン社(現CBI electric Australia)と技術提携を行い、100Aフレ
ーム以上大型ブレーカのノックダウン方式輸出開始。完全電磁式と
して世界最大の2000Aフレームを完成。H400限流ブレーカ開発で
昭和42年 電設工業展にて建設大臣賞を受賞。宮城県亘理郡の坂元に敷地
3,000坪、建坪1,500坪坂元工場を新築完成。
資本金1億800万円となる。故障チェック自動再投入ブレーカAR形
の開発で工業技術院長賞を受賞。
昭和45年 過負荷警報装置付OS5000で通産大臣賞を受賞。
昭和48年 3月創業社長大條駒雄急逝し新たに代表取締役社長に大條修也
就任。
昭和58年 漏電遮断器の生産工場として古河工場がJIS認定取得。
東京工場を古河工場へ移転統合し2工場体制となる。
昭和62年 音響機器の生産を中止。
平成 3年 漏電遮断器の生産工場として坂元工場がJIS認定取得。
平成 6年 2月代表取締役社長に大條文也就任。
平成11年 11月世田谷区奥沢から川崎市中原区に事務所移転。
ISO9001認証取得
平成14年 IEC60947-2に基づくサーキットブレーカのCB承認を世界で初めて取得
平成16年 資本金1億円となる。
平成19年 東海道新幹線N700系および台湾新幹線700T系にDBシリーズが
採用される。
平成22年 東北新幹線E5系にDBシリーズが採用される。
SPD(避雷器)用分離器DSP103A開発。
平成23年 3月東日本大震災により宮城および茨城の工場が被災するも4月末
操業再開。
平成24年 東北新幹線E6系にDBシリーズが採用される。
平成26年 東海旅客鉄道殿より東海道新幹線50周年記念式典に於いて、安
全安定輸送に寄与した事が評価されて感謝状を賜る。
平成27年 北陸新幹線E7系W7系にDBシリーズが採用される。
平成28年 11月代表取締役社長に大條雅也就任
平成29年 10月ISO9001 2015年版移行 認証登録

■拠点一覧





株式会社 日幸電機製作所

<http://www.nikko-el.co.jp>

本 社
(営 業 部)

〒211-0002 川崎市中原区上丸子山王町1-860-2
総務部 TEL 044-455-1231 FAX 044-455-1232
営業部 TEL 044-455-1211 FAX 044-455-1212
E-mail : nikko-all@nikko-el.co.jp

仙 台 営 業 所

〒989-2111 宮城県亶理郡山元町坂元字八軒23
TEL 0223-33-4050 FAX 0223-33-1933
E-mail : nk-sendai@nikko-el.co.jp

大 阪 営 業 所

〒531-0075 大阪市北区大淀南1-9-16 山彦ビル
TEL 06-6453-8222 FAX 06-6453-8211
E-mail : nk-osaka@nikko-el.co.jp

坂 元 工 場

〒989-2111 宮城県亶理郡山元町坂元字八軒23
TEL 0223-38-1121 FAX 0223-38-1540

古 河 工 場

〒306-0204 茨城県古河市下大野2000
TEL 0280-92-0233 FAX 0280-92-6147

